

令和 3年度 社会福祉法人ユタカ福祉会
事業報告書

◎ 喜連西デイサービス（一般デイサービス・和みデイサービス）

○総括

令和 3年度についても、新型コロナウイルス感染予防の観点から、当施設の目玉である大々的なイベントの開催自粛を余儀なくされる形となっているものの、生活の場面で様々な制限が課せられている利用者にとって、少しでも楽しみが得られる様に、今までに無い行事の開催を職員と試行錯誤し、提供する事が出来た。特に「新しい内容」「満足の得られる特別な食事」を意識し、7月に開催した夏の特別昼食会では、揚げたての天ぷらをすぐに召し上がって頂ける様に対応し、午後は大型プロジェクターを用いて、全国で開催される花火大会の映像を観覧して頂く事で、外出の機会が損なわれている利用者に対して、少しでも気分転換が図れる様に尽力している。11月に開催した施設内行事では、市場から仕入れた鯛を利用者の目の前で捌く事で、板前の様なパフォーマンスを披露し、豪華なちらし寿司とお造りを提供する事で、五感を刺激する事も出来る、豪華な昼食の提供をさせて頂く事が出来た。また、その行事に向けて各利用者に作成して頂いた仮面を装着し、仮面舞踏会として、仮装した職員と社交ダンスを楽しむ事で、身体を動かしながら意欲向上にも働きかける事が出来た。今後も新型コロナウイルスによる影響は続く見込みであり、今までと違う生活様式でも、楽しみが損なわれない様、新しい内容を取り組み、職員一丸となって支援が出来る様に努める。

地域交流においても、感染予防の観点から地域行事の開催は、自粛や中止が相次いでいる状況であるも、近隣住民との関係性を近づける様に、積極的に挨拶を行う事で、少しでも交流が芽生える機会を設ける事が出来た。また、地域主体の防災訓練も参加する事で、防災の知識が得られただけでなく、少なからず地域住民との交流の機会を得る事が出来た。引き続き、地域の拠点の場として認知して頂ける様に努める。

令和 3年度の一般デイ（予防含む）・和みデイの平均登録利用者数は133名（一般デイは109名、和みデイは26名）。自事業所、他事業所等も含めて56名の紹介を頂き、利用に繋がったのが約47名となっている。登録者数は前年度に比べて、平均して約2割の減少となっているが、令和 3年度の改正に伴って、基礎単位数の増加の影響もあり、現状維持となっている。和みデイに関しては、平均登録者数は若干微増となっている。また、家族のニーズもあり、利用回数の増加も見られる様になっている。引き続き、和みデイの特色を生かした支援を広められる様に尽力する。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や蔓延防止措置の発令に伴う影響により、その月々によって体験利用や問い合わせの変動は生じられるものの、前年度と比べて大差なく、体験利用には至らずとも、お問い合わせ等は20件程となっている。問い合わせ内容に応じて、通常型のデイサービスや、和みデイの利用についても重ねて提案させて頂く様に努めている。

令和 3年度を振り返り、新しい生活様式における、あらゆる制限下の中でも、その人らしい生活が継続出来る様に、職員が一丸となり、各職員も共感と共有を基に、より良い支援が出来る様に努める。

○令和 3年度の年間スローガン

- ・ 御利用者様が住み慣れた地域での日常生活が送れる様に、一人ひとりのニーズに合わせた支援に努める。
- ・ 向上心を忘れず、元気に明るく前向きに、より良い1日を提供できるケア体制。
- ・ 一方通行にならない「報告・連絡・相談」。

○年間推移表（前年度との比較）

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	6,494 (94)	6,344 (89)	7,026 (89)	7,541 (88)	7,044 (84)	7,203 (81)
和みデイ	2,465 (27)	2,611 (25)	2,826 (23)	3,069 (26)	3,229 (26)	3,207 (26)
予 防	885 (30)	774 (30)	860 (30)	973 (30)	1,029 (32)	1,100 (34)
合 計	9,844 (151)	9,729 (144)	10,712 (142)	11,583 (144)	11,302 (142)	11,510 (141)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,707 (84)	6,924 (81)	7,208 (78)	6,493 (79)	6,728 (81)	7,510 (85)
和みデイ	3,014 (25)	3,160 (28)	2,962 (28)	2,595 (24)	2,623 (23)	2,948 (24)
予 防	1,075 (36)	1,163 (38)	1,232 (39)	974 (30)	789 (28)	844 (27)
合 計	11,796 (145)	11,247 (147)	11,402 (145)	10,062 (133)	10,140 (132)	11,302 (136)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,601 (87)	7,303 (89)	7,069 (85)	7,847 (89)	7,952 (87)	7,586 (81)
和みデイ	2,769 (25)	2,694 (25)	2,790 (26)	2,928 (26)	2,825 (23)	2,669 (22)
予 防	858 (28)	857 (30)	845 (27)	775 (26)	683 (23)	633 (21)
合 計	11,228 (140)	10,854 (136)	10,704 (138)	11,550 (141)	11,460 (133)	10,772 (128)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,039 (84)	7,685 (84)	7,706 (87)	7,285 (88)	6,863 (85)	7,961 (84)
和みデイ	2,690 (22)	2,934 (25)	2,971 (24)	3,040 (24)	2,691 (24)	2,998 (23)
予 防	668 (21)	615 (20)	635 (21)	696 (22)	609 (20)	645 (22)
合 計	10,397 (127)	11,234 (129)	11,312 (132)	11,021 (134)	10,163 (129)	11,604 (129)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

○行事報告書

・令和 3年

4月 9日・13日	春の特別昼食会	担当	喜安・山下
5月 2～5日	菖蒲湯	担当	安部
5月18日	皐月演劇会	担当	鈴木・安部・長富・大西
6月24日	水無月田植えりレー	担当	安部・長富・増田
7月 7日	七夕祭	担当	安部
7月24日	夏の特別昼食会	担当	喜安・田畑・大西
8月26日	夏祭り	担当	山下・鈴木・長富・廣橋
9月25日	敬老会	担当	長富・安部・田畑
10月29日	特製昼食	担当	大西・安部
10月29日	運動会	担当	安部・山下・喜安 本川・甫木
11月25日	活魚解体ショー& ちらし寿司パフォーマンス	担当	大西・安部・田畑・長富
11月25日	仮面舞踏会	担当	田畑・安部・大西・長富 上村・寺嶋
12月22～26日	柚子湯	担当	安部
12月24日	餅つき大会	担当	山下・大西
12月24日	クリスマス会	担当	安部・廣橋・三谷・玉崎

・令和 4年

1月26日	新年会	担当	鈴木・田畑・廣橋
2月 3日	節分	担当	安部・大西・鈴木
3月 3日	ひな祭り	担当	安部

※その他、随所でサプライズおやつの提供や、写真撮影会などを実施。

◎喜連西ケアプランセンター

令和 3年度において、年間利用者延べ人数は昨年度よりも増加となっている。体調不良にて入院し、その後退院し在宅生活の継続が困難との判断で施設入居を余儀なくされた方、体調が改善せず他界された方等昨年度に比べ多くみられたが、事業所との協働・家族との連携に加え、地域住民の力を借り自宅での生活が継続できている方も多い。そのような方が増えるよう事業所内での検討や情報共有を常に行った結果が利用者増加につながっていると思われる。

次年度においても医療・介護、また、地域包括や事業所内での地域住民と協働し利用者が出来るだけ長く自身の思う暮らしが出来るよう自立に向けた支援に努め、更に地域に必要とされる事業所を目指す。

○年間目標について

① 利用者様・家族様の立場に立った支援の徹底

住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように、心身の状況・利用者の取り巻く環境を常に確認しながら、各種サービスが偏ることなく、効果的に提供されるよう配慮し、利用者の選択に基づいたサービスに繋げる事が出来た。その結果生活状況が改善された方が多くみられている。また、困難事例においては職員全員で共有し、いつでも対応出来るように心がけ、利用者様や家族様の不安を取り除き、その結果、信頼関係の構築もできている。今後においても継続して実施していく。

② 自己研鑽に努める

法改正に伴い、変更や追加部分の把握に努め、職員間でもわからない部分についてはその都度確認し周知に努めた。また、自立支援に向けた質の高いケアマネジメントを実践するため、定期的に事業所内での研修を実施するとともに外部研修にも積極的に参加し、その後は必ず普及研修を実施する事で職員全員の知識とできるように努めている。次年度においてはさらに自己研鑽に努めるよう、毎週の事業所内研修を担当制とし、個々の目標に合わせた研修を実施し、より良いケアマネジメント業務に繋がるように努めていく。

③ 情報共有・連携強化に努める

・職員との連携と職場作り

事業所内において「相談しやすい環境」を意識し情報共有に努めた。職員同士が互いにフォローしあえるよう、報告 連絡 相談を常に行うことで、自身の担当以外の利用者様の把握ができ、職員間での信頼関係も年々深まっていると確信している。次年度においても維持・継続できる環境作りに努める。

・地域包括支援センターとの連携

今年度においても困難事例等を積極的に受け、助けていただきながら事例の解決に至ったケースは多数あった。事例解決後も報告を怠らず、関係性の維持ができている。

次年度においても包括への報告や連絡等を常に行い、さらに信頼していただける事業所を目指す。

・協働連携

訪問介護や通所介護等からの連絡や情報提供をもとに利用者様の新たなニーズを抽出し、サービスの見直しを行うことで在宅生活がより充実するように心がけた。その後についても情報を共有することで結果、入院や入所になることなく在宅生活が継続でき、利用者様や家族様に喜んでいただくことができている。今後においても地域に頼られる事業所となるよう協働連携を行っていく。

・医療との連携

医療ニーズの高い利用者様も年々増えてきている。早急な対応を求められる事が多く、医療・介護をつなぐ役目として、今までの経験を活かし、また、あたりに必要とされる知識や対応策を学びながら実施できた。今後においても役割分担を明確化し、医療連携の強化に努める。

④ 安定した事業経営

各地域包括やオレンジチーム、病院からの依頼も多くあった事や、利用者様の同居の家族様のニーズが増大したケース等も多くあり、今年度の担当ケースは予防も含め、一か月平均 205 となった。次年度においては職員を増員したこともあり、さらに多くの依頼があるよう、事業所の情報を伝えていき、月平均 240 件を目指す。

⑤ 経費削減対策を強化

必要以上の事務用品の使用や、印刷ミス・その他無駄がないように各職員がそれぞれ意識を高め実施出来ている。

⑥ 感染予防対策の徹底

新型コロナの蔓延により今まで以上に感染予防対策を職員はもちろんであるが、利用者様や家族様にも呼びかけを実施した。その成果はあり、職員においては業務への支障なく実施できている。利用者様においても重症化することなく在宅生活を継続できている。今後においても継続して感染予防対策を徹底していく。

⑦ 防災への取り組み

事業所内で各地域の避難場所の把握に努め、利用者様宅への訪問時に、利用者様自身での防災への取り組みや認識に対して確認し助言を行うようにしている。また、おひとり住まいの方も多く、家族様への確認も徐々に行っている。自分自身にも何ができるのか、何をしておくべきなのかを常日頃より考え行動し、地域との繋がりも良好な関係を作り、助け合える関係性を築いていくよう努める。

⑧ 情報管理の徹底

個人情報の取り扱いについては、目的の範囲内で最小限に努め、情報提供の際には再度利用者様やその家族様に確認を行っている。今後もより一層、管理の徹底に取り組んでいく。

○令和3年度スローガン

- 1 寄り添って支えて育む地域の絆 心ユタカに生き生きと
- 2 気配り・目配り・思いやり 明日へつなぐ今日のケア
- 3 全ケースの把握に努め、多様性が生きるチーム創り

○令和 3年度 外部研修

開催日	演題 議題 (主催者)	実施内容	出席者
4月30日	令和3年度 居宅介護事業所向け 介護報酬改正セミナー	介護報酬について	松浦
6月22日	2021年介護報酬改定 実地指 導対策 実務運営に関する徹底解 説	報酬改定について	松本
6月25日	各地域包括支援センター	自立支援ケアマネジメント伝達・ケア プラン点検研修会 感染症について	河本
11月24日	個人情報保護法 (あいおいニッセ イ同和損保)	改正個人情報保護法について	河本
1月21日	BPC 対策 (居宅連絡会研修部)	ケアマネ業務に活かせる BPC 対策	河本 松本 河越
2月25日	平野区喜連地域支援者交流会 (喜 連地域包括支援センター)	ゴミ屋敷 貧困 ヤングケアラー 等々についての意見交換 その他情報提供	松本
3月11日	各地域包括支援センター	平野区自立支援型ケアマネジメント 伝達・障害福祉サービスについて	河本
3月19日	平野区医師会 平野区認知症高齢 者支援ネットワーク連絡会	認知症に使うお薬についてについて 認知症と薬と多職種連携	河越

○年間推移表（前年度との比較）

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	2,645(167)	2,627(168)	2,715(174)	2,755(158)	2,625(183)	2,711(171)
予防	81(28)	85(27)	96(22)	106(25)	103(18)	110(19)
区分変更	(5)	(8)	(9)	(4)	(3)	(5)
合計	2,727(173)	2,712(171)	2,811(176)	2,826(180)	2,728(178)	2,822(182)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	2,602(179)	2,753(181)	2,728(182)	2,714(157)	2,840(164)	2,960(170)
予防	134(19)	127(19)	133(17)	131(31)	145(34)	140(32)
区分変更	(4)	(2)	(2)	(10)	(8)	(9)
合計	2,737(182)	2,881(188)	2,910(188)	2,846(188)	2,986(198)	3,100(202)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,332(187)	3,400(192)	3,422(193)	3,443(194)	3,584(197)	3,435(193)
予防	81(19)	98(21)	94(22)	85(20)	81(19)	81(19)
区分変更	(5)	(2)	(1)	(5)	(7)	(3)
合計	3,414(206)	3,499(213)	3,516(215)	3,529(214)	3,584(216)	3,517(212)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3,377(189)	3,306(185)	3,334(186)	3,317(184)	2,937(165)	2,980(167)
予防	134(16)	72(17)	82(18)	84(19)	119(23)	115(24)
区分変更	(4)	(2)	(7)	(1)	(2)	(5)
合計	3,446(205)	3,379(202)	3,417(204)	3,401(203)	3,057(188)	3,096(191)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

◎ 喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

○総括

年度当初は、登録数15名でのスタートだったが、一般・和みデイサービスからの移行で4名、新規2名の増加があり、施設入所・入院で5名、中止で1名が退所となり年度末では13名となった。しかし、認知症状が進み、日常生活の自立度が低下し、在宅生活が困難な為、施設入所希望の方もいるなかで出来る限りながく在宅生活を継続できるよう、利用者本人、家族、主治医と連携を取りながら、通い日数や時間、訪問回数、泊り回数の増加を検討し実施している。

通いサービスでは、新型コロナウイルス感染予防対策として、施設外での行事や外出援助はすべて控えることとなった。よって、できる範囲でのデイサービスとの共同施設内行事や四季折々の壁紙作りや毎月のカレンダー作り等のレクレーション活動を充実させた。また、クラブ活動では密になることを避けた工夫をし、手洗い・うがい・手指消毒・換気の強化等の徹底に努めて、感染予防対策に取り組んだ。

運営推進会議は、昨年年度末に引き続き新型コロナウイルス感染予防対策として、会議は収束を見込めないことから、すべて書面開催となった。

令和3年度の売上は3,536万円となり、昨年度と比較して840万円の減額となった。また、日々の営業活動やホームページを通して、他事業所や家族より、新規の問い合わせは増加している。しかしながら、遠方などの理由により断らざるを得ないケースも多い。さらに当事業所においては、他の同施設に比べ面積的理由等から様々な制約を受けるため、登録人数を多く増やすことはサービス悪化に直結してしまう。令和4年度もこのジレンマを抱えながらも、個々の多様化するニーズにできるだけ対応することができるよう心掛け、利用者様の状況を十分考慮した上で、利用登録者増加を目指していく。

○年間推移表（前年度との比較）

・令和2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	4,070 (16)	3,941 (16)	3,964 (15)	3,453 (14)	3,224 (14)	3,377 (13)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,568 (14)	3,688 (15)	3,614 (15)	3,606 (15)	3,687 (16)	3,564 (14)

・令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	3,901 (15)	3,636 (15)	3,258 (13)	3,111 (13)	2,736 (12)	2,707 (12)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	2,857 (13)	2,482 (12)	2,481 (12)	2,650 (13)	2,729 (13)	2,821 (13)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

○令和 3 年度の年間スローガン、行事報告

令和 3 年度の年間スローガン、行事報告に関しては、デイサービス・認知症対応型デイサービスを参照。

◎ゆたか訪問介護ステーション

○総括

令和 3年度はWith コロナを念頭に感染対策を講じ業務に努めた。

コロナの影響や慢性的な人員不足の中、収益は減少の一途を辿り特に7月・8月においては長年ご利用されていた利用者が相次ぎ入院・入所・他界となり利用者数は激減することとなった。

近年の傾向として、一度入院された方の在宅復帰は施設入所が主となり自宅に戻る傾向が少なくなっていることや、コロナ感染症の不安から自宅に他人が入る事を躊躇するご家庭もあり、サービス再開や新規訪問介護利用者の数が減少している事があげられる。

このような状況の中、年間を通しチラシ配布やポスター掲示、営業カードの作成・配布、こまめな報告を繰り返し、新規居宅支援事業所との関わりを作るべく取り組んだ。

結果、新規事業所との関わりが増え、現在ではコンスタントに新規依頼の相談を受けるようになっている。

人員については、新任サービス提供責任者に対し日々のOJTを積み重ね、業務内容の把握や現場での対応、契約やサービス担当者会議への同行出席を繰り返し育成に努めた。スキルアップを図る目的で個々のスキルに併せた目標を毎月掲げ、振り返りを確認する作業を積み重ねる中で、業務への理解や手順の把握ができたといえる。

年間を通しスタッフの出入りがなく退職者は2名に留まるが入職者はおらず、慢性的な人手不足は解消できていない。併せて、登録ヘルパーの高齢化が顕著に表出しており、月の稼働時間や日数を見合わせる者も少なくない。

また、事業所内でのコロナ感染者はないものの、家庭感染や濃厚接触者にあたる者もおり休職を余技なくされる中、スタッフがサポートしあいサービス継続を行ってきた。対策として、法人全体の求人ホームページ作成などの取り組みを行っている。

ハード面では、法人内で使用するソフトが統一されたことにより実績や予定の送受信が利用でき、手間と書類の削減に繋がった。事業所内では、訪問介護計画書・モニタリング・ケース記録等がシステム内で作成可能となり、情報共有や閲覧に要する時間が大幅に短縮されている。これにより、会議の日中開催や書類にかかる時間の短縮が図られ大幅に残業時間を短縮する事ができたといえる。

次年度においては、記録の電子化を視野に入れ特定事業所加算を算定できるよう準備を進めていくと共に、人員確保・収益Upに向け対策を講じていきたい。

○令和 3年度 ゆたか訪問介護ステーション（障がい者相談支援センターゆたか） スローガン

笑顔の絶えない「新しいチームゆたか」

Get along with YUTAKA

自他を尊重したオープンな関係

サポートしあえる環境をつくろう

未来を見据えた業務改革

○年間推移表（前年度との比較）

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	7,656 (117)	7,757 (113)	7,951 (117)	8,013 (111)	7,380 (107)	7,259 (105)
予防	1,674 (82)	1,600 (78)	1,537 (78)	1,456 (75)	1,422 (72)	1,401 (73)
総合支援	2,270 (45)	2,077 (41)	2,289 (47)	2,269 (45)	2,196 (42)	2,181 (44)
保険外	65 (25)	41 (13)	42 (18)	43 (25)	36 (18)	52 (25)
合計	11,657(269)	11,477(245)	11,821(260)	11,782(256)	11,035(239)	108,94(247)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7,565 (104)	6,971 (105)	7,360 (103)	6,769 (104)	6,830 (102)	7,769 (103)
予防	1,398 (73)	1,408 (73)	1,346 (70)	1,317 (68)	1,337 (68)	1,315 (68)
総合支援	2,190 (46)	1,732 (40)	1,785 (40)	1,747 (37)	1,632 (37)	1895 (38)
保険外	39 (20)	31 (15)	50 (20)	33 (19)	57 (19)	55 (22)
合計	11,914(243)	10,144(233)	10,541(233)	9,867 (228)	9,858 (226)	11,035(231)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	6,973 (99)	6,820 (101)	7,029 (104)	6,875 (102)	6,206 (97)	6,097 (97)
予防	1,375 (68)	1,405 (71)	1,435 (71)	1,429 (72)	1,441 (72)	1,442 (74)
総合支援	1,827 (37)	1,774 (37)	1,841 (37)	1,692 (34)	1,698 (33)	1,632 (33)
保険外	31 (34)	50 (24)	36 (19)	49 (21)	25 (15)	48 (20)
合計	10,208(238)	10,051(233)	10,342(231)	10,047(229)	9,371 (217)	9,221 (224)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	6,245 (95)	6,382 (98)	6,593 (100)	6,028 (98)	6,085 (97)	6,573 (97)
予防	1,412 (72)	1,440 (72)	1,434 (72)	1,436 (72)	1,496 (75)	1,457 (73)
総合支援	1,690 (34)	1,669 (34)	1,668 (32)	1,563 (32)	1,560 (35)	1,767 (35)
保険外	65 (25)	56 (18)	43 (19)	35 (17)	47 (23)	47 (21)
合計	9,414 (226)	9,549 (222)	9,740 (223)	9,062 (219)	9,189 (23)	9,846 (226)

※ 単位：千円

※ () 内は利用者登録数

○令和 3年度 研修会

事業所内研修については前年度に引き続き、オンラインと少人数参加型で実施した。

ヘルパー研修

- 4月 春だ！接遇をみなおそう（近藤）
- 6月 感染症と食中毒の予防について（永井）
- 8月 事故発生再発防止（星里）
- 10月 認知症について（永尾）
- 12月 緊急時の対応について（近藤）
- 3月 介護職の倫理観とコンプライアンス（田渕）

◎障がい者相談支援センターゆたか

○総括

令和 3年度は登録人数62名で開始した。

指定特定相談支援及び指定障がい児相談支援として、前年に続き、役所関係の手続きの迅速化と、利用者のニーズにあった支援体制の構築に努めた。

他の障害福祉サービスの事業所については、新規の利用者に関するやり取りを通じて、いくつかの事業所と関係が出来た。

令和 3年度の事業の傾向としては、障がい児の計画相談の利用者が増えた。すでに利用されている利用者家族で障害のある方の利用の申し込みが増えたことがある。

介護保険サービスと障がい福祉サービスを併給している利用者の依頼が増えており、令和 3年度は3人の利用者を担当した。

年間を通して、売り上げ目標は達成できた。登録者は、年度末時点で6名増加し、68名となった。

○令和 3年度スローガン及び研修等は、ゆたか訪問介護ステーション報告書参照。

○年間推移表（前年度との比較）

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	81 (5)	115 (7)	67 (4)	64 (4)	96 (6)	96 (6)
モニタリング	411 (31)	294 (22)	332 (25)	358 (27)	306 (23)	279 (21)
登録者数	(57)	(51)	(55)	(53)	(51)	(53)
合計	493 (36)	409 (29)	400 (29)	422 (31)	402 (29)	376 (27)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	48 (3)	118 (7)	194 (12)	80 (5)	48 (3)	179 (11)
モニタリング	371 (28)	291 (22)	359 (27)	384 (29)	386 (29)	279 (21)
登録者数	(53)	(56)	(58)	(58)	(58)	(61)
合計	419 (31)	410 (29)	553 (39)	465 (34)	434 (32)	459 (32)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	100 (6)	116 (7)	73 (4)	135 (8)	200 (12)	124 (7)
モニタリング	373 (27)	402 (29)	400 (29)	345 (25)	331 (24)	363 (26)
登録者数	(62)	(61)	(61)	(63)	(64)	(65)
合計	473 (33)	518 (36)	474 (33)	480 (33)	532 (36)	487 (33)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	57 (3)	171 (10)	83 (5)	150 (9)	103 (6)	121 (7)
モニタリング	387 (28)	372 (27)	376 (27)	360 (26)	441 (32)	404 (29)
登録者数	(65)	(65)	(66)	(67)	(68)	(68)
合計	445 (31)	544 (37)	460 (32)	510 (35)	545 (38)	526 (36)

※ 単位：千円

※ () 内は利用者登録数

◎ 平野区喜連地域包括支援センター

当センターが開設し11年目となった。事業については新型コロナウイルスの影響が大きく、主に市民向けの研修や行事が中止になったが、インターネットを活用した研修・会議の開催は昨年度から開始しており、一般的な形式になりつつある。

1 公平且つ中立的な業務の運営確保

平野区地域包括センター運営協議会に運営状況を報告し承認を得るとともに、委員よりでた意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保している。

2 地域包括ケアの推進について

① 認知症総合支援事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・専門職向けの研修会はオンラインで講演とシンポジウムを実施した。市民向けには認知症の啓発DVDの作成をしており、来年度発行予定。
- ・ひらのオレンジチームとは地域の行事での相談窓口の周知はできなかったが、金融機関に対して認知症の研修会を実施や、Youtubeにて、協認知症に対する発信を協力して行った。
- ・また新たな周知活動と称して、高齢者以外の若い世代へのセンター周知について、一緒に検討し、SNSの活用を推進した。

② 在宅医療・介護連携推進事業との連携について

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・平野区在宅医療ケアネットワーク委員会はコロナ感染症対策のため開催されなかった。

③ 生活支援体制整備事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・生活支援体制整備事業へ参画し、居場所づくり活動プロジェクトチームの一員として事業の推進に協力した。
- ・地域の集いの場について情報共有し、課題解決に向け連携した。
- ・喜連西地域の新たな社会活動の場づくりのための会議に参画し、協力・連携した。

3 総合相談業務

タイムリーにランチと情報共有し、各関係機関と連携しながら業務にあたった。また、広報掲示板やSNSを活用し相談窓口の周知をした。

- ・相談実人員 921人（うち認知症疑い 389名）
- ・延べ相談件数 10,525件（うち認知症疑い 4,922件）

4 当センター単位で実施する包括的・継続的ケアマネジメント

- ・平野区介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会の事務局としてサポートした。ブロック別交流会に関しては初めてオンラインでの開催を支援した。
- ・地域支援者交流会を開催し、地域の介護支援専門員や地域福祉活動コーディネーター、障がい支援機関とのネットワークの強化を図った。
- ・地域のインフォーマルサービスをまとめ一覧を作成し、介護支援専門員を中心に情報提供した

5 権利擁護業務

- ・平野区役所やランチと協働し、高齢者虐待の早期解決にむけ協働した。また、平野区内の地域包括支援センターと合同で介護支援専門員に対して高齢者虐待予防研修を開催した。
- ・地域の介護支援専門員に対して、詐欺等の情報提供や注意喚起を行った。
- ・成年後見制度の早期活用に向け、介護支援専門員と連携し情報提供等支援を実施した。

6 その他の事業

- ・ポレポレ体操は、感染症対策をしながら開催と中止を繰り返した。中止の際は体操プログラムを参加者に渡し自宅で実施して、Youtubeにて動画を配信した。
- ・認知症カフェはコロナウィルス感染症予防のため中止とした。代替として Youtube で認知症についてのお話をひらのオレンジチームも協働で配信した。
- ・車いすの貸出事業を継続し、そこからの介護相談や支援につなげたケースもあった。
- ・サーバーが耐用年数を迎えたため、交換を行った。

7 介護予防支援事業について

平野区自立支援型ケアマネジメント研修会を開催し、地域のケアマネジャーに対して自立支援型ケアマネジメントの理念や意義を伝達した。

【ケアプラン料収入】

●年度収入：18,464千円

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,289 (260)	1,318 (266)	1,310 (260)	1,301 (263)	1,318 (265)	1,343 (269)
委託プラン	244 (372)	249 (366)	230 (359)	238 (369)	225 (352)	251 (363)
合計	1,533 (632)	1,567 (632)	1,540 (619)	1,539 (632)	1,543 (617)	1,594 (632)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,278 (260)	1,275 (259)	1,300 (260)	1,273 (258)	1,250 (251)	1,250 (254)
委託プラン	256 (367)	252 (373)	247 (372)	251 (369)	258 (369)	258 (370)
合計	1,534 (627)	1,527 (632)	1,547 (632)	1,524 (627)	1,508 (620)	1,508 (624)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,179 (246)	1,212 (253)	1,232 (257)	1,236 (258)	1,232 (257)	1,236 (258)
委託プラン	291 (394)	299 (419)	294 (409)	279 (397)	278 (398)	275 (387)
合計	1,470 (640)	1,511 (672)	1,526 (666)	1,515 (655)	1,510 (655)	1,511 (645)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,246 (260)	1,294 (270)	1,303 (272)	1,289 (269)	1,275 (266)	1,256 (262)
委託プラン	290 (381)	240 (376)	277 (386)	242 (367)	256 (356)	278 (371)
合計	1,536 (641)	1,534 (646)	1,580 (658)	1,531 (636)	1,531 (622)	1,534 (633)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

8 研修報告

日時	研修名	場所	参加者
6月 8日	地域包括支援センター管理者研修①	オンライン研修	安井
6月25日	平野区自立支援型ケアマネジメント研修	オンライン研修	西尾
6月29日	介護予防ケアマネジメント担当者研修	オンライン研修	小倉
8/11・14・17	地域包括支援センター職員基礎研修	オンデマンド配信	安井
7月16日	地域包括支援センター基礎研修①	天王寺区民センター	小倉
8月18日	個人情報保護ガイドラインの理解とケアマネジメント研修	オンライン研修	中西
8月24日	地域包括支援センター基礎研修②	オンライン研修	西堀
9月 7日	地域包括支援センター管理者研修②	オンライン研修	中西
10/9・28	大阪府介護支援専門員専門研修 I	OMM ビル	安井
10/27 11/17	大阪府主任介護支援専門員更新研修	OMM ビル	西尾
10月29日	苦情対応研修	オンライン研修	全職員
11月11日	地域包括支援センター発展研修①	大阪市研修情報センター	中西
11月26日	地域包括ケアシステム推進研修会	オンライン研修	岩田
12/9 1/7・28 2/4・18	コミュニティーソーシャルワーク実践講座研修	オンライン研修 大阪市研修・情報センター	安井
12月10日	平野区自立支援型ケアマネジメント・高齢者虐待研修	オンライン研修	松本
12月15日	地域包括ケアシステム充実強化研修	オンライン研修	中西
1月19日	地域包括支援センター課題別研修	オンライン研修	小倉
1月23日	成年後見制度利用促進研修	オンライン研修	岩田
1/29 2/17	大阪府介護支援専門員専門研修 II	大阪 YMCA 会館	安井
2月 2日	若年性認知症支援研修	オンライン研修	小倉
3月11日	平野区自立支援型ケアマネジメント研修	オンライン研修	西尾

※すべての研修について、普及伝達を実施した。

9 令和 3年度スローガン

- ① 地域包括ケア推進のため、多職種が連携するネットワークの構築を目指します。
- ② 自立支援の視点に立ち、介護予防の理念に沿ったケアマネジメントを行います。
- ③ 地域、関係機関と良好な関係を築き、信頼されるセンターを目指します

◎介護付有料老人ホームゆたか

○事業期間

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日

○基本方針

ご入居者様、ご家族様に満足して頂けるサービスの提供を目指す。

○総括

令和 3年度においては、『ご入居者様、ご家族様に満足して頂く』を目標に、入居者と職員が共に喜びのある時間を過ごせるよう、様々な取り組みを行ってきた。

6年目を迎える中、昨年と同様に新型コロナウイルスの流行により、外出行事の自粛を行ない、すべて施設内行事へと変更した。外出が出来ない状態が続く中、どのような事が入居者の楽しみにつながる事が出来るのか、職員と入居者が一緒になって共に楽しく過ごせる時間を作るにはどうすれば良いかなどを検討し、毎週にわたり行事や取り組みを行っている。家族の面会についても施設内感染の予防に努め、制限を設けるなど入居者、家族に不便をかけた。

運営面においては入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADLの低下など、様々な問題と直面しながら、適宜業務マニュアルの改善、サービス内容の変更、介護ロボットの導入の検討、入居者の状況に合わせたケアが提供できるよう職員間で検討してきた。日常生活の変化に柔軟に対応し、その時、その人に何が必要か、【その人らしい、自分らしさ】を真剣に考え対応してきたと言える。人員に関しては、正職員やパート職員の退職もあり、新規職員の受け入れを実施しながら都度、対応を重ねている。適宜実施した職員研修では、様々な内容を取り上げ職員のスキルアップにつなげる事ができた。

ハード面では常時、設備の安全点検を実施しながら、定期的な専門業者による点検や修理、備品の整備等を行っている。介護ロボットの導入も行い、2月よりインカムの導入により職員間のスムーズな連携や、眠りSCANによる睡眠状態を確認できるようになり、入居者の睡眠の質の向上を図る事が出来るようになった。

また、防災・消防訓練を実施する事で、職員・入居者共に、防災等への意識付けができ、いざという時の対応について研鑽している。

このような取り組みを行う中で、当年度は満床に近い状態を維持しながら運営する事ができたといえる。

施設での暮らしにおいては、日常生活がいかに安全で安心した毎日であるか、また日々の生活の中で、入居者個々が自分らしい楽しみを見つける事が出来る環境であるかが大事だと考える。次年度に向けては、入居者により、充実した毎日を過ごして頂けるよう、外出機会の確保やレクレーションの充実等、満足度の高い安心・安全な暮らしを提供できるよう職員が協力しあいながら運営していきたい。

○職員の概要

常勤職員 13名 (令和 3年 3月31日時点)

パート職員 8名 (令和 3年 3月31日時点)

○入居者の概要

入居者数 30名 (令和 4年 3月31日時点)

平均介護度 3.3 (令和 4年 3月31日時点、要支援者除く)

平均年齢 87.1歳 (令和 4年 3月31日時点)

○ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス流行により、外部の方の受け入れ中止。

コロナウイルス流行により、ポイント事業によるボランティアは中止。

○施設内研修・施設外研修

4月12日	身体拘束廃止及び虐待について
5月10日	排泄ケアについて
7月12日	個人情報保護及びプライバシー保護の取り組みについて
9月13日	介護主任・リーダー職員研修
9月13日	接遇マナーとコミュニケーションに研修
10月11日	排泄ケアについて
11月13日	認知症ケアについて
11月 8日	事故、ヒヤリハット及び再発防止への取り組みについて
1月10日	認知症ケアとパーソンセンタードケア
3月14日	感染症予防と蔓延防止に関する研修
3月17日	防災訓練と非常時災害の対応について

○施設内行事・施設外行事

4月 9日	ドミノピザ地域貢献活動にピザパーティー
4月21日	春のお楽しみ会 ※花見の代替え
5月 3～ 5日	しょうぶ湯
5月12日	消防訓練
5月26日	お楽しみ会 わくわく和菓子バイキング ※外出ツアーの代替え
6月 9日	おやつ作り 懐かしのはったい粉
6月16日	お楽しみ会 豪華昼食会（お寿司）※外食ツアーの代替え
6月18日	家庭菜園収穫祭
6月30日	カラオケ大会
7月 7日	七夕まつり
7月25日	アイスコーヒーの日
8月10日	かき氷フェスタ
8月25日	夏祭り 綿菓子作り体験
9月15日	おやつ作り 懐かしのはったい粉団子とバナナパフェ
9月22日	敬老会
10月 1日	6周年記念 ぜんざいの日
10月13日	おやつ作り チョコバナナ作り
10月27日	運動会
11月24日	秋のお楽しみ会 豪華お弁当昼食
11月28日	消防訓練
12月22日	クリスマス会
12月21～23日	ゆず湯
12月23日	クリスマス会
1月 1日	お正月 書初め
1月19日	初詣イベント
2月 2日	節分 ぜんざいの日
3月 2日	ひな祭り
3月23日	防災訓練

※その他：ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

○年間推移表（前年度との比較）

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	31名	30名	30名
介護保険	6,889	6,921	6,901	7,220	7,167	6,976
家賃等	4,950	4,957	4,894	5,006	4,848	4,969
合計	11,840	11,879	11,795	12,227	12,016	11,945
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	30名
介護保険	7,209	6,787	6,811	7,186	6,519	7,323
家賃等	5,013	5,028	4,945	4,861	4,913	4,859
合計	12,223	11,815	11,757	12,047	11,433	12,182

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	31名	30名	30名
介護保険	7,280	7,358	7,030	7,338	7,378	7,141
家賃等	4,961	4,988	4,953	4,926	5,062	4,999
合計	12,241	12,346	11,983	12,264	12,440	12,140
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	30名
介護保険	7,548	7,176	7,480	7,670	6,814	7,467
家賃等	5,043	5,027	4,992	5,101	4,967	5,086
合計	12,591	12,203	12,472	12,771	11,782	12,553

※単位：千円

※入居者数は短期利用の方も含む

○令和 3年度のスローガン

入居者様に日々笑顔で過ごして頂く為に

- ① 感謝の気持ちでおもてなし
- ② 丁寧な言葉遣いと丁寧な対応
- ③ 報連相（報告・連絡・相談）でチームケア
- ④ みんなで作ろう 楽しい職場

◎カリーノ保育園

○保育内容総括

令和 3 年度は最多となる年間平均 105 名（障がい児 4 名を含む）の在園児数になる急遽、転居での異動が続いたが、役所と密に連絡を取り合い待機児童の状況等、情報を得る中で、入園に繋げていくことができた。

年々、年齢別園児数のバランスが安定してきているので、好調であった前年度を上回り、より安定した運営をすることができた。

保育面では、前年度に続き新型コロナウイルスの影響で従来通りのやり方では難しいものばかりとなったが、状況に応じてやり方や感染対策を徹底しながら、実施できたものもあった。運動会では、無観客での開催となったが、子ども達の頑張りをすべての保護者に見てもらう方法として、法人から各家庭に DVD をプレゼントすることによって、不満にもつながらず、子ども達の心身の成長を感じてもらえることができた。

また、クッキング保育を主とした食育活動は旬の食材に触れ、実際に自分たちで調理することで、作る楽しさや面白さはもちろん大変さもあることに気付くことができる体験となった。子ども達だけでなく、保護者からも好評であった。

社会体験では、スーパーへ行き 31 アイスクリームを選んで購入するという「自己選択」の体験ができ、また公共施設でのマナーやルールも学ぶことができた。

特別保育（英語・HIPHOP・学習・お菓子作り）では子ども達が積極的に取り組む中で、多くの刺激や学びがあり、子どもたちの中に「できた!」「楽しい!」という感覚が芽生え、心身共に成長する姿が見られた。

保護者支援として、行事やイベントの際はよりリアルに子ども達の様子が伝えられるように、活動風景を撮影したものの掲示を行うようにした。降園時などにそれらのものを目にすることで「今日はどんなことをしたか」親子で話ができるきっかけとなり、保護者の方に保育園での活動を身近に感じてもらうようになった。

○課題分析

今後の課題として、保育士確保が年々困難になってきている。保育実習（高校、短大等）やボランティア等を通じて、早い段階からアプローチを行い、保育士養成校、ハローワーク等とより連携を深め、人材確保、人材育成に努めていきたい。

又、新型コロナウイルスの影響で、様々な行事などが延期・中止となることが予想されるが、少しでも子ども達が豊かな経験をできるように方法を変えながらも記憶に残る体験を企画し、イベントや活動を通して、カリーノ保育園だからできる実体験を大切に、生きる力を育てていく。

今後も引き続き動向を見据えながら当園児の年齢バランスを考え、保育園を安定維持できるように努めたい。

○園児数推移

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	13 ()	14 ()	15 ()	15 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)
4歳児	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
5歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)
合 計	100 (3)	101 (3)	102 (3)	100 (3)	102 (3)	102 (3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	17 ()	17 ()
4歳児	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
5歳児	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)
合 計	101 (3)	101 (3)	101 (3)	101 (3)	100 (2)	100 (2)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	16 ()	16 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
4歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	19 (1)	19 (1)
5歳児	22 (1)	22 (1)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)
合 計	103 (2)	104 (2)	105 (3)	105 (3)	106 (3)	106 (3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	19 (1)	20 (1)	20 (1)
4歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)
5歳児	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)
合 計	106 (3)	106 (3)	106 (3)	104 (4)	105 (4)	105 (4)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

		令和 3年度 年間行事			
4月	103人	入園式・春の遠足(中止)		異年齢保育開始	
5月	104人	こいのぼりの集い・スナップエンドウ収穫			
6月	105人	運動会(園内にて無観客)・保育参加(中止)・ブラッシング指導			
7月	105人	プール開き・歯科検診・内科検診・検尿・おもちゃ花火教室(5歳児)・絵本読み聞かせ(チャイルド社) 保育実習<城南学園高等学校2年>・4歳児訪問事業(平野区役所、絵本の読み聞かせ)・救命講習			
8月	106人	プール終了			
9月	106人	保育実習<大阪芸術短期大学>			
10月	106人	ハロウィン・保育実習<大阪芸術短期大学>・お泊り保育(5歳児 松原園合同)<クリエート月ヶ瀬> 園外保育(2歳児)<中央公園>、秋の遠足(3歳児)<平野白鷺公園> 社会体験(5歳児)<サーティーワン・買い物体験>・キウイ収穫			
11月	106人	秋の遠足(4歳児 松原園合同)<大泉緑地>・サプライズ遠足(5歳児)<長居公園> さんま&焼き芋パーティー(5歳児 松原園合同)			
12月	106人	発表会・保育実習<城南学園高校>・クリスマス会・年末年始休園			
1月	104人	保育始め・たこあげ大会(3・4・5歳児)・内科検診		3歳児お昼寝順次終了	
2月	105人	節分豆まき 手洗い指導・保育参加(中止) 保育実習<大阪芸術短期大学>			
3月	105人	ひなまつりの集い 卒園式(5歳児)・喜連西小学校学校探検(5歳児) 焼き鳥パーティー、買い物ごっこ(5歳児 松原園合同)		↓ ↓	

・その他の活動

英語遊び	週 5 回 (外国語講師)
学習遊び	週 2 回
ヒップホップダンス	月 4 回
おやつ作り	月 1 回
サッカー教室	月 1 回
巡回指導	月 1 回

避難訓練	月 1 回		担当	高田・高山
世代間交流	年 3 回程度	喜連西デイサービス	担当	高田・倉角
異年齢児保育	月 1 回程度	お楽しみ会	担当	仲里・大西・高山・高橋 他
保育所体験	月 1 回程度	おやつ作り	担当	松尾 他
	随時	保育体験	担当	西野

◎松原カーリーノ保育園

○保育内容総括

当年度は、140名（障がい児6名、要保護児童9名を含む）の園児数で始まった。年度途中で引っ越しのため2名の園児が退園したものの途中入園児数が上回り過去最高の平均園児数142名に達した。

保育を運営する上では、新型コロナウイルス感染予防対応等に追われた1年であった。全国的にオミクロン株の感染者数が激増し、家庭内感染から園内感染に拡大した。クラス閉鎖、休園措置が相次ぎ、止む無く二大行事の運動会は0歳児・1歳児クラスが中止・2歳児クラス以上は人数制限のために2部制にしての開催、生活発表会は全クラス中止する結果となった。事前に開催基準を発表し、中止となったクラスは当日発表する内容と保育参加も時間短縮、中止となったため普段の様子を撮影したDVDを配布した。

また、卒園式は保育証書授与式を中止し、大きく内容を変えて開催した。特に保育証書授与の際に子どもたち一人一人の生まれた時・3歳児の頃・卒園の頃の写真をスライドで流すという取り組み等は大好評だった。今回大きく見直した行事の取り組みに関しては「安全な環境の確保・時間短縮と内容の維持」の達成に繋がったと考える。これらを踏まえて今後も行事の開催法や保育の取り組みを子ども達の負担を配慮した上で、改めて考案し明確化していきたい。

一年間を通して「より安心・安全な保育環境の提供と職員育成の強化」を目標に掲げ、「保育の質の向上」と「保育士の意識の改善」を目指した。職員研修はリモートで参加し、計画通り進めることができた。

当園の特色ある保育の1つに挙げられる食育は、緊急事態宣言・まん延防止事態措置の期間が長引き、計画通り進められなかったが、サプライズで巨大ケーキのプレゼント、卒園後の焼き鳥パーティー、メッセージ付きクッキー作り、シイタケ栽培、ぬか漬け、給食を自分で弁当箱に詰めて好きなところで食べる、等の取り組みを行い、コロナ禍においても子どもたちにとって印象深い行事を行うことができた。食を通して感動と興味にコネクトし、満足度向上に繋げ保育理念達成に近づいたと感じている。

○課題分析

産休・育休制度の充実と新型コロナウイルスの影響が相まって0歳児の確保が厳しくなっている。そのことから現状運営の維持継続をするためにはHP+戦略的な情報発信の創意工夫が必須であると考えます。また5年後・10年後を見据え、年齢別定員数や保育運営形態・新事業の導入等の検討などその時々マッチした保育運営を行っていく。

令和4年度は141人でスタートできる事を喜び、・特色ある保育、・より丁寧で個々の成長を受け止める保育、・子どもの主体性が重視される保育、を柱にし、保育を執り行っていく。

○園児数推移

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	13 ()	15 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	21 ()
3歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
4歳児	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)
5歳児	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)
合計	139 (7)	139 (7)	139 (7)	138 (7)	139 (7)	142 (7)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
3歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
4歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
5歳児	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)
合計	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)

・令和 3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	13 ()	13 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	25 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)
3歳児	22 ()	22 ()	22 ()	22 ()	23 ()	23 ()
4歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
5歳児	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)
合計	140 (6)	139 (6)	141 (6)	141 (6)	142 (6)	142 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	18 ()	18 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	24 (1)	24 (1)	24 (1)	23 (2)	23 (2)	24 (2)
3歳児	23 ()	23 ()	23 ()	23 ()	23 ()	23 ()
4歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
5歳児	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)
合計	141 (6)	141 (6)	141 (6)	140 (6)	143 (6)	144 (6)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

令和3年度 行事報告書

月	園児数	行事	
4月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・(縮小)入園式・進級式 ・お弁当ごっこ(4・5歳児) ・令和2年度お泊り保育(卒園児) ・(縮小)子どもの日の集い 	お菓子作り(4・5歳児) お誕生日会(全クラス)
5月	139	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年個人懇談(希望制)・蟻虫検査・検尿 	(中止)お菓子作り(4・5歳児)
6月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診・内科検診 ・サプライズケーキ ・ブラッシング指導 ・手洗い指導 	お菓子作り(4・5歳児)
7月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕の集い ・ひまわり畑見学(5歳児) ・お祭りごっこ ・プール開き 	お菓子作り(4・5歳児)
8月	142	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊び ・クッキング保育(5歳 ハンバーグ) 	(中止)お菓子作り(4・5歳児)
9月	142	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習(大阪芸術短期大学 2名 常磐短期大学 1名) ・運動会総合練習 	(中止)お菓子作り(4・5歳児)
10月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・(縮小)運動会・各学年クラス会(2・3・4・5歳のみ) ・遠足&お泊り保育(5歳児本園合同) ・サプライズアイスクリーム、買い物体験 ・さつまいも堀(5歳児) 	5歳児 昼寝終了 お菓子作り(4・5歳児)
11月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライズ遠足(5歳児) ・高齢者交流(和太鼓披露) ・サンマパーティー、焼き芋 ・獅子舞 ・園外保育(3歳児)＜中央公園＞ ・歯磨き指導(歯科衛生士来園)・手洗い指導 ・内科検診 	お菓子作り(4・5歳児)
12月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加 ・バルーンアート ・中央小学校交流秋祭り(5歳児) ・ブラッシング指導 ・(縮小)避難訓練(松原消防署来園なし) ・じゃがいも掘り ・サンタクロース来園・年末年始休園 	お菓子作り(4・5歳児)
1月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・保育初め ・保育実習(四天王寺短期大学 1名) 	お菓子作り(4・5歳児)
2月	143	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき・個人懇談(希望制) ・保育実習(大阪芸術短期大学 2名 大阪健康ほいく専門学校 1名 常磐会短期大学 1名) ・(縮小)生活発表会総合練習 (縮小)生活発表会(ビデオ撮影) 	(中止)お菓子作り(4・5歳児)
3月	144	<ul style="list-style-type: none"> (縮小)・各学年クラス会(2歳・5歳のみ) (縮小)・コマ回し大会(幼児・乳児別) ・お別れ遠足(3歳児4歳児・5歳児合同)＜大泉緑地＞ ・焼き鳥パーティー、買い物ごっこ(5歳児本園合同) ・お別れミニ運動会(乳児・幼児別)＜園庭＞ ・小学校体験(中央小運動場) ・(縮小)卒園式&茶話会 	(中止)お菓子作り(4・5歳児)

平成30年度～令和 9年度 社会福祉法人ユタカ福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人ユタカ福祉会		法人番号	3120005007439				
法人代表者氏名	辰己 祐剛							
法人の主たる所在地	大阪市平野区喜連西三丁目15番23号							
連絡先	06-6797-2011							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和 3年 6月 5日 (月)							
評議員会の承認年月日	令和 3年 6月27日 (日)							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (R02年度 末現在)	1か年度目 (H30年度 末現在)	2か年度目 (R01年度 末現在)	3か年度目 (R02年度 末現在)	4か年度目 (R03年度 末現在)	5か年度目 (R04年度 末現在)	6か年度目 (R05年度 末現在)	7か年度目 (R06年度 末現在)
	306,430	293,430	280,430	267,430	212,780	150,000	120,000	90,000
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		13,000	13,000	13,000	54,650	62,780	30,000	30,000
	8か年度目 (R07年度 末現在)	9か年度目 (R08年度 末現在)	10か年度目 (R09年度 末現在)	合計		社会福祉充実事業未充充分		
	60,000	30,000	0			0		
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	30,000	30,000	30,000	306,430				
本計画の対象期間	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の	事業費 (単位：千円)
					有無	
1か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	新規	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	新規	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
2か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
3か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
4か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	通所施設空調修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅SSの空調設備の改修を行う。	有	12,450
	保育所建物修繕事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の建物の改修を行う。	有	6,200
	保育所園庭井戸整備事業	社会福祉事業	新規	松原カリーノ保育園園庭に井戸を整備する。	有	6,000
	小計					
5か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	通所施設建物修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅SSの建物の改修を行う。	有	19,980
	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西デイ・小規模多機能施設の大浴場ろ過機の修繕を行う。	有	8,000
	保育所大型遊具整備事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の大型遊具の整備を行う。	有	4,800
	小計					
6か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
7か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
8か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
9か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
10か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
合計						306,430

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	職員の処遇改善と資質向上及び安定的経営基盤の構築の為。
② 地域公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
職員給与充実事業	計画の実施期間における事業費合計	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	30,000	30,000	30,000	30,000	240,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	30,000	30,000	30,000	30,000	240,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
事業収益		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員育成事業	計画の実施期間における事業費合計	3,000	3,000	3,000	0	0	9,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	3,000	3,000	3,000	0	0	9,000
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設空調修繕事業	計画の実施期間における事業費合計				18,700	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				12,450	0	0
		補助金				6,250	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	18,700		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	12,450	
		補助金	0	0	0	0	6,250	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所建物修繕事業	計画の実施期間における事業費合計				13,700	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				6,200	0	0
		補助金				7,500	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	13,700		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	6,200	
		補助金	0	0	0	0	7,500	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所園庭井戸整備事業	計画の実施期間における事業費合計				6,000	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				6,000	0	0
		補助金				0	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	6,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	6,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設建物修繕事業	計画の実施期間における事業費合計					19,980	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					19,980	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	19,980		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	19,980	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設大浴場ろ過機修繕事業	計画の実施期間における事業費合計					8,000	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					8,000	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	8,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	8,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所大型遊具整備事業	計画の実施期間における事業費合計					4,800	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					4,800	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	4,800		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	4,800	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。
 ※ 単位は千円とする。

5. 事業の詳細

事業名	職員給与充実事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	当法人の職員に対する給与等を増額する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	2か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	3か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	4か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	5か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	6か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	7か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	8か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	9か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	10か年度目	全職員に対して給与等を増額。
事業費積算 (概算)	平成30年度より3か年間 年間 10,000 千円×3年間= 30,000 千円 令和 3年度より7か年間 年間 30,000 千円×7年間=210,000 千円	
	合計	240,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 240,000 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	職員育成事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	50名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和 3年 3月31日	
事業内容	当法人の職員の資質向上を図る為、研修受講費用を補助する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
	2か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
	3か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。

	4か年度目	—
	5か年度目	—
事業費積算 (概算)	300千円×職員10名×3年間=9,000千円	
	合計	9,000千円(うち社会福祉充実残額充当額 9,000千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設空調修繕事業	
主な対象者	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者200名 喜連西地域在宅SSの職員60名	
想定される対象者数	260名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	喜連西地域在宅SSの空調機器の不具合等が生じていることから、機器の修繕・交換等を行い、施設利用者及び職員に安全で良好かつ快適な生活環境を整える。 また、感染症の予防、光熱費の削減を図る。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	施設空調機器の修繕・交換等を行う。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	空調機器修繕費用として 18,700千円 (内、社会福祉充実残額充当額にて12,450千円、先進的省エネルギー投資促支援事業費補助金にて6,250千円を計上予定。)	
	合計	18,700千円(うち社会福祉充実残額充当額 12,450千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所建物修繕事業	
主な対象者	カリーノ保育園園児100名 カリーノ保育園職員25名	
想定される対象者数	125名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	カリーノ保育園外壁の劣化の為、亀裂及び欠損部から風雨による漏水等がみられる。また、3Fトイレ・沐浴室・調乳室の壁が劣化しはがれている。これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに園児及び職員に安全で快適な環境を確保する。 また、水災害時等における事態の拡大化の予防を図っていく。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	カリーノ保育園の修繕工事を行う。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として 13,700千円 (内、社会福祉充実残額充当額にて6,200千円、大阪市民間保育所等大規模修繕費補助金にて7,500千円を計上予定。)	
	合計	13,700千円(うち社会福祉充実残額充当額6,200千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所園庭井戸整備事業	
主な対象者	松原カリーノ保育園園児145名 カリーノ保育園職員35名	
想定される対象者数	180名	
事業の実施地域	松原市	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	

事業内容	<p>松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設け、周りに木々の植栽や小川等を設置することにより、園児に自然と触れ合うことのできる快適な環境を提供する。</p> <p>また、井戸水の利用により水費用の削減を行う。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設置する。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	井戸設置費及び周辺設備施工費として 6,000千円	
	合計	6,000千円（うち社会福祉充実残額充当額 6,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設建物修繕事業	
主な対象者	<p>喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者200名</p> <p>喜連西地域在宅SSの職員60名</p>	
想定される対象者数	260名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	<p>喜連西地域在宅SSの建物（築20年以上）の外壁に亀裂及び欠損等の経年劣化がみられ、今後、水災害時や施設運営において甚大な支障をきたすことが予想される為、これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに、施設利用者及び職員に安全で快適な環境を確保する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	喜連西地域在宅SSの建物の修繕を行う。

	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として、 19,980 千円	
	合計	19,980 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 19,980 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	
主な対象者	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者 200名	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	喜連西地域在宅 SS の建物(築20年以上)の大浴場ろ過機に経年劣化がみられ、ろ過機能が低下している。今後感染症の拡大などが予想される為、これらの修繕により施設利用者に安全で快適な環境を確保する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	喜連西地域在宅 SS の大浴場ろ過機の修繕を行う。
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として、 8,000 千円	
	合計	8,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 8,000 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所大型遊具整備事業	
主な対象者	カリーノ保育園園児	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	カリーノ保育園園庭の大型遊具（木製）に経年劣化等がみられ、都度修繕を行うも、長期間使用を禁止する等、安全で快適な運営に支障をきたす為、新規に大型遊具の整備を行い、園児が健やかに成長できる環境を整える。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	カリーノ保育園園庭に大型遊具の整備を行う。
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	大型遊具の撤去費及び新規設置等 4,800千円	
	合計	4,800千円（うち社会福祉充実残額充当額 4,800千円）
地域協議会等の意見とその反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

当初（平成30年度）計画の5か年度計画を遂行し3か年目を終了した時点で、充実残額が当初の2倍を超えた為、計画の見直しを図ったが、残り2か年での計画変更は困難である。もって平成30年度からの計画を10か年計画として見直し、社会福祉充実残額の活用計画を作成する。

◎社会福祉充実計画についての報告

令和 3年度においては、平成30年度充実残額11,000万円から令和 3年 3月31日時点で30,643万円となり、当初計画の2倍を超えた為、計画見直し変更を行うこととなった。当初（平成30年度）計画は5か年計画ですでに3か年を消化しており、残存期間2か年での計画変更は困難となる為、以って平成30年度からの計画を10か年計画として見直し、社会福祉充実残額の活用計画を作成することとなった。

よって、4か年目（令和 3年度）においては、3か年間継続させた職員給与充実計画を10,000千円から30,000千円まで充実させる。職員育成事業は無論継続させるが、充実計画上の3,000千円は削除。新事業として、通所施設空調修繕事業（喜連西地域在宅サービスステーションの空調施設の改修）12,450千円、保育所建物修繕事業（カリーノ保育園建物の修繕）6,200千円、保育所園庭井戸整備事業（松原カリーノ保育園園庭に井戸を整備）6,000千円を追加した。

また、5か年目には、職員給与充実計画3,000千円の継続に加え、通所施設建物修繕事業（喜連西地域在宅サービスステーションの建物の修繕、通所施設大浴場ろ過機修繕事業（喜連西デイサービス・小規模多機能型施設の大浴場ろ過機の修繕）8,000千円、保育所大型遊具整備事業（カリーノ保育園の大型遊具の整備）4,800千円を行うこととした。6か年目以降は職員給与充実計画30,000千円を継続させる計画となる。

今年度においては、新型コロナウイルス感染等の理由により、保育所園庭井戸整備事業を遂行することができず次年度に据え置くこととなった。